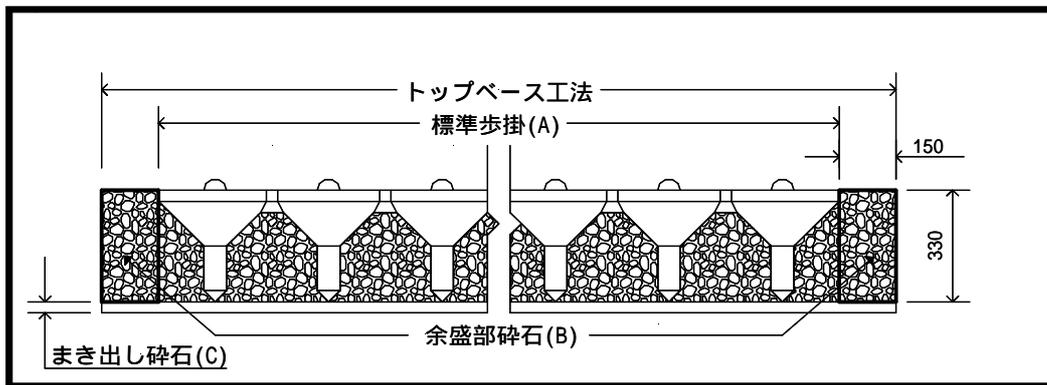


トップベース工法 330型2×3 (6連) 設計基準例

設計における条件断面図】



設計 (A) 標準歩掛】

(10m²当たり)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
マイ独楽	コンクリート製品2×3 (6連型)	基	15.0			
世話役		人	0.10			
ブロック工		人	0.20			
特殊作業員		人	0.10			
普通作業員		人	0.40			
ラフレーン クレーン運転	排気ガス対策型 油圧伸縮ジブ25t吊	日	0.20			
間詰砕石工	40-0mm (ブロック充填部)	m ³	2.54			材工共
計						
1 m 当たり						

(本歩掛は、国土交通省土木工事積算基準平成17年度版P68の歩掛を参考にしています。)

注1) 間詰砕石量は、砕石厚33 cmを基準としています。

注2) 本歩掛は、トップベース工法330型2×2 (4連) についても適用できるものとしています。

注3) 参考重量はV×2.3で330型6連115kg、4連76kgとしています。

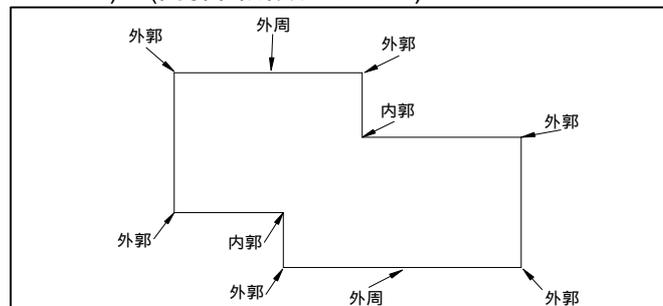
注4) 2層の場合は本表数量の2倍としています。

設計 (B) 余盛部砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
余盛部砕石工	40-0mm (ブロック外周余盛部)	m ³				材工共

数量計算式

$$\text{外周延長} + (\text{外郭箇所数} \times 0.15\text{m}) - (\text{内郭箇所数} \times 0.15\text{m}) \times 0.15\text{m} \times 0.33\text{m}$$



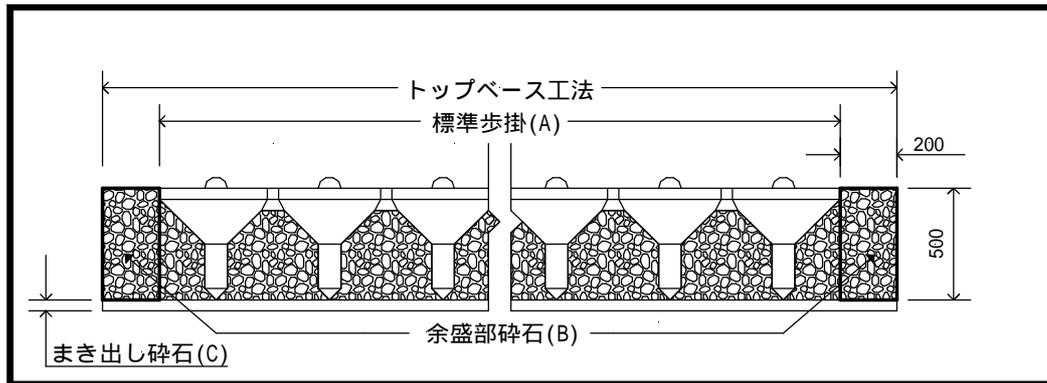
設計 (C) まき出し砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
まき出し砕石工	40-0mm	m ³				材工共

注1) 作業困難な軟弱地盤でのまき出し量は、別途必要量を計上してください。

トップベース工法 500型2×3 (6連) 設計基準例

設計における条件断面図】



設計 (A) 標準歩掛】

(10m²当たり)

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
マイ独楽	コンクリート製品2×3 (6連型)	基	6.66			
世話役		人	0.10			
ブロック工		人	0.20			
特殊作業員		人	0.10			
普通作業員		人	0.20			
ラフテレーン クレーン運転	排気ガス対策型 油圧伸縮ジブ25t吊	日	0.10			
間詰砕石工	40-0mm (ブロック充填部)	m ³	3.85			材工共
計						
1 m ² 当たり						

(本歩掛は、国土交通省土木工事積算基準平成17年度版P68の歩掛を参考にしています。)

注1 間詰砕石量は、砕石厚50 cmを基準としています。

注2 本歩掛は、トップベース工法500型2×2 (4連) についても適用できるものとしています。

注3 参考重量はV×2.3で500型6連394kg、4連261kgとしています。

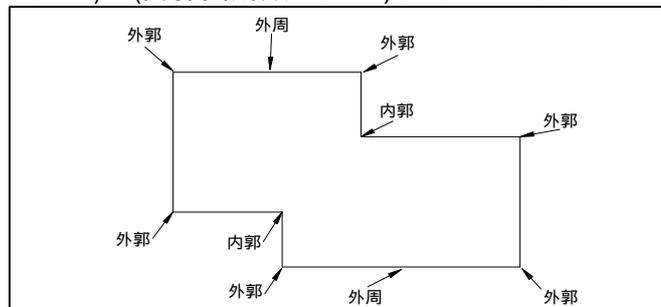
注4 2層の場合は本表数量の2倍としています。

設計 (B) 余盛部砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
余盛部砕石工	40-0mm (ブロック外周余盛部)	m ³				材工共

数量計算式

$$\text{外周延長} + (\text{外郭箇所数} \times 0.2\text{m}) - (\text{内郭箇所数} \times 0.2\text{m}) \times 0.2\text{m} \times 0.5\text{m}$$



設計 (C) まき出し砕石工】

名称	規格	単位	数量	単価	金額	適用
まき出し砕石工	40-0mm	m ³				材工共

注1) 作業困難な軟弱地盤でのまき出し量は、別途必要量を計上してください。